

令和3年度

事業報告書及び決算報告書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

公益財団法人千歳青少年教育財団

## 目 次

令和3年度事業報告書	1
I 公益目的事業	2
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	5
3 教育機関支援事業	6
◇ 水族館管理運営事業	7
1 水族館管理運営事業	7
2 年間パスポート会員の加入促進	15
3 情報提供活動	15
4 新型コロナウイルス感染症の対応について	16
II 役員に関する事項	17
III 職員に関する事項	18
IV 理事会・評議員会の開催状況	19
1 理事会	19
2 評議員会	19
令和3年度決算報告書	21
I 貸借対照表	23
II 正味財産増減計算書	24
III 財務諸表に対する注記	28
IV 財産目録	33
V 収支計算書	36
VI 収支計算書に対する注記	51
令和3年度監査報告書	
参考資料	

# 令和3年度事業報告書

令和3年度において、公益財団法人千歳青少年教育財団は、千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与することを目的に、青少年の健全育成を図るため必要な教育事業を行うとともに、水族館管理運営事業を計画に基づき実施しました。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期にわたる中、感染対策に万全を期すとともに、事業の推進に取り組んできました。

以下、各事業の概要について報告します。

『教育事業』については、千歳水族館学習事業として、「サーモン・ツアー」では、感染対策のため宿泊を取りやめ、「サケの搬入体験」及び「サケを解剖しよう」の2つの体験に分けて実施し、「サケふるセミナー」では、サケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを実施しました。

ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー講習会やシニア・リーダー研修会、オンライン交流会などを実施しました。

また、夏休み自然教室は、「青葉公園自然観察会」及び「夜の水族館探検」の2つの体験に分けて実施しました。

社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業の「緑の村キャンプ大会」や「ちとせつ子雪あそび」などは中止としましたが、「ちとせの子どもクリスマス集い」は実施しました。

教育機関支援事業では、総合的な学習などに対応したサケ稚魚放流体験など多様な学習活動への協力や学芸員講師の派遣を行うとともに、職業体験やインターンシップ、博物館学芸員実習の受入れを実施しました。

次に、『水族館管理運営事業』については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などにより臨時休館、事前予約制、入場制限等の対応やプロモーション活動の制限などがありましたが、感染対策を徹底しながら、事業に取り組みました。

常設展示では、サケ科魚類を中心とした水槽展示や千歳川護岸利用の水中観察ゾーン、タッチプールなどの体験コーナーなど、企画展示では全国水族館めぐりをテーマとした夏季企画展のほか、多くの展示を実施しました。また、季節展示としてサケ属3種の回帰親魚の展示やグラスツリーによる発眼卵の展示を実施しました。

体験学習及びイベントでは、バックヤードツアーやサケ稚魚放流体験のほか、季節のイベント・体験を、感染防止のための制限を行いながら実施しました。

これらの結果、水族館の令和3年度入館者数は、前年度比11.6%増の162,854人となり、目標を上回ることができました。

また、年間パスポート会員の加入については、個人会員は5,307人、法人会員は102団体となり、いずれも前年度実績及び目標を上回ることができました。

最後に、令和3年度の収支決算においては、公益目的事業会計及び法人会計を合わせた事業活動収支の部については、収入が223,717,955円に対して、支出が192,240,889円、投資活動収支の部については、投資活動収入10,812,052円に対して、投資活動支出が41,706,685円、財務活動収支の部については、財務活動収入0円に対して、財務活動支出が571,536円となり、合算すると収入総額は234,530,007円、支出総額は、234,519,110円となります。これにより、差引き10,897円が当期収支差額となり、前期繰越収支差額175,675円を加えた186,572円が次期繰越収支差額となりました。

以下、事業内容及び収支決算の詳細は別紙のとおりです。

# 事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

## I 公益目的事業

### ◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

#### 1 学習講座開設事業

##### (1) 千歳水族館学習事業

###### ア サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

サケの生態や食文化などについて、水族館に宿泊しながら体験するプログラムであったが、新型コロナウイルス感染防止のため宿泊を取り止め、「サケの搬入体験」と「サケを解剖しよう」の2部に分けて実施した。

サケの展示やふ化放流事業について学ぶ「サケの搬入体験」は、9月25(土)と10月2日(土)の2回、幼児から小学6年生までの親子4組15名が参加し、開館前の水中観察窓のサケの様子やインディアン水車のサケ取り上げ作業を間近で見学した後、千歳水族館の展示水槽にサケを運び入れる作業を体験した。

サケの生態や体の仕組みを知る「サケを解剖しよう」は、10月9日(土)、小学1年生から6年生の親子を含む4組10名が参加し、サケ親魚を解剖しながら体の仕組みについて観察した。

###### イ サケふるセミナー

サケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを合計7回実施し、延べ191名が参加した。実施内容は次のとおり。

8月 9日(月・祝)	ミニ水族館作り「メダカを飼ってみよう」	20名
9月20日(月・祝)	サケの採卵体験	8組33名
10月10日(日)	サケの採卵体験	8組32名
10月23日(土)	サケの採卵体験	8組27名
11月 7日(日)	サケの採卵体験	8組25名
11月23日(火・祝)	サケの採卵体験	8組31名
12月 5日(日)	サケの採卵体験	8組23名

##### (2) ジュニア・リーダー活動事業

###### ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化に中心的な役割を果たすリーダーの育成を目的に、前期、後期に分けて講習会を開催した。

前期講習会は、新型コロナウイルス感染防止のため時間を短縮し、2回開催した。1回目は4月29日(木・祝)北ガス文化ホールにおいて、参加者14名のほかシニア・リーダー「つばさ」14名が参加し、初級、中級、上級に分かれて創作活動や講話、実技などの講習を行った。2回目は9月11日(土)に開催予定であったが、北海道の緊急事態宣言中のため延期して11月28日(日)千歳水族館において行い、上級1名とシニア・リーダー「つばさ」3名が参加した。

後期講習会は、1回目を12月19日(日)に北ガス文化ホールにおいて、1泊2日の宿泊を取りやめて1日で開催し、ジュニア・リーダーが初級・中級・上級合わせて11名、シニア・リーダーが9名参加して創作活動の実践研修などを行った。2回目は2月20日(日)に開催予定であったが、北海道のまん延防止等重点措置期間中のため中止とした。

イ ジュニア・リーダー交流会（新規事業）

講習会以外の場においてジュニア・リーダー同士が集い、リーダー活動について実践的に学ぶことを目的として、中学生のシニア・リーダー「つばさ」が企画し、1月9日(日)千歳水族館において実施した。ジュニア・リーダー11名、シニア・リーダー「つばさ」8名が参加して、シニア・リーダーの活動内容について学びながら、リーダーの資質向上を目指すとともに、互いに交流を深めることができた。

(3) シニア・リーダー「つばさ」活動事業

ア 北海道地域子ども会リーダー研修会 ※1

夏休み期間に、国立日高青少年自然の家において、リーダー研修及び「北海道子どもキャンプ」活動支援が2回、新型コロナウイルス感染防止に留意した上で開催された。道内5市より中学生から専門学校生までのリーダー10名が参加する中、「つばさ」からは高校3年生2名が、7月23日(金・祝)から25日(日)の1回目に参加した。参加者は、日頃の活動成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図ることができた。

イ シニア・リーダーわくわく体験教室（中止） ※1

日頃の活動訓練の成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図ることを目的に、サーモン・ツアー及び夏休み自然観察会で、「つばさ」のメンバーが講師となって実施する予定であったが、両事業とも新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

ウ 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会（中止） ※1

9月に石狩市において、管内の子ども会やリーダーが参加する研修会が開催される予定であったが、北海道の緊急事態宣言中のため中止となった。

エ ジュニアリーダーHokkaido（中止）

9月18日(土)から19日(日)までの2日間、ネイパル深川において、道内で活動する中・高校生のリーダーが参加する事業が開催される予定であったが、北海道の緊急事態宣言中のため中止となった。

オ 北海道内の青少年リーダーサークルとのオンライン交流会

道内で活動する青少年リーダーサークルと、それぞれのサークルやコロナ禍でできる活動の紹介や、今後活動を進めるための情報交換を目的に、3月19日(土)、午前は別海町、午後は当別町の青少年リーダーサークルとオンライン交流会を実施した。「つばさ」からは別海町に5名、当別町に6名が参加して、活動内容やレクリエーションなどを千歳水族館からオンラインで紹介した。

カ シニア・リーダー「つばさ」研修会 ※1

3月27日(日)、北ガス文化ホールにおいて、「つばさ」の会員26名が参加して、各種行事や事業についての企画立案や運営方法などを学び、様々な事業への支援活動を担える力を養成するための研修会を実施した。例年、日高青少年自然の家において1泊2日としていたが、宿泊をせず、新型コロナウイルス予防対策を行いながら1日で実施した。

キ 市町村ジュニア・リーダー合同研修交流会（中止） ※1

3月下旬にネイパル深川において、道内5市町の青少年リーダーが集まり、2泊3日でレクリエーション技術や活動内容の紹介などによる交流を実施する予定であったが、5市町と調整・検討した結果、中止となった。

ク 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

「つばさ」の活動で養った経験を生かし、青少年育成に関わる支援活動を行った。千歳水族館の学習事業に関連した2事業に延べ22名、1町内会に6名が参加、支援した。

ケ 石狩管内青少年リーダーサークル交流会（中止）

石狩管内の各市町で活躍するリーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る目的で、3月に対面での交流会を行う予定で準備を進めたが、新型コロナ感染が中高校生の間にも広がり、北海道にまん延防止等重点措置の適用などにより、中止となった。

(4) 夏休み自然体験教室 ～水族館編～（新規事業）

小学校高学年から中学生までを対象とし、千歳水族館で宿泊し、近郊での野外活動や水族館内での体験教室を実施する計画であったが、新型コロナ感染防止のため、小中学生の児童・生徒を含む家族で参加する「青葉公園自然観察会」と「夜の水族館探検」の2つの体験に分けて実施した。

8月3日(火)、「青葉公園自然観察会」として、小学1年生から4年生までの児童、幼児、保護者3組9名と、シニア・リーダー「つばさ」の4名、千歳サケのふるさと村教授会から講師等6名が参加し、公園の自然観察と千歳川での水生昆虫観察を行った。

8月7日(土)、「夜の水族館体験」として、小学1年生から中学1年生の児童・生徒、幼児、保護者の7組28名が参加し、閉館後の暗い館内でクイズをしながら夜の水族館で展示生物の観察を楽しんだ。

(5) 冬休み体験教室（中止） ※1

国立日高青少年自然の家において、集団宿泊生活を通して子どもたちの自立と精神的成長を促すことを目的に、1月11日(火)から13日(木)まで、小学4年生から中学3年生までを対象に実施する予定であったが、新型コロナ感染防止のため中止とした。

(6) 体験学習

① 自然観察会（中止）

6月下旬に世界遺産となったキウス周堤墓群の見学と千歳市の特産食材・ハスカップを摘む体験教室を予定したが、北海道に緊急事態宣言が発令されたため中止とした。

② 美々川カヌー体験

千歳近郊の豊かな自然を体感することを目的に、10月17日(日)、美々川でカヌー体験を新型コロナ感染防止のため参加方法等を変更して開催した。年長から中学1年生までの子どもたちとその保護者、6組19名が参加し、美々川の自然環境を楽しみながら体験できた。

※1 令和3年度事業計画において「新型コロナ感染症の状況により実施を検討する事業」と位置付けていた事業 【再掲】

・北海道地域子ども会リーダー研修会	～	実施
・石狩管内地域シニアリーダー研修会	～	中止
・シニア・リーダー「つばさ」研修会	～	実施
・市町村ジュニアリーダー合同研修交流会	～	中止
・シニア・リーダー「つばさ」わくわく体験教室	～	中止
・冬休み体験教室	～	中止

## 2 社会教育関連事業

### (1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、「千歳青少年育成推進員」を令和2年6月1日から令和4年5月31日までの2年間に任期として委嘱している。令和3年度は新たに2名が加わって68名の推進員が、社会教育関連事業や地域の子どもの活動に協力した。

### (2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）（中止）

7月4日(日)に富丘中学校体育館において、NHKラジオ・テレビ体操で指導されている講師を迎え、町内会や青少年育成活動の支援者等を対象とするラジオ体操講習会を計画していたが、北海道に緊急事態宣言が発令されたため中止とした。

### (3) 緑の村キャンプ大会（中止） ※2

仲間との宿泊生活や野外活動、自然の探求を通して、協力し助け合い励まし合う仲間づくり、自然を愛する豊かな心の育成、他の地域の子どもの会との交流を目的に、青葉公園ピクニック広場において2回の開催を予定したが、町内会行事の実施状況やワクチン接種の進捗状況から中止とした。

- ・ 第1回 7月17日(土)～18日(日)を予定 町内会主催（中止）
- ・ 第2回 7月22日(木・祝)～24日(土)を予定 千子連主催（中止）

なお、2年連続でキャンプ大会が中止となる中、「つばさ」の高校生がキャンプ大会の仕事を中学生に伝承するため、自主研修として7月22日(木・祝)千子連20名、「つばさ」13名が参加して、新型コロナウイルス感染防止対策に徹底し、キャンプファイヤーの組み立て方法や、トーチ作りの指導方法などの研修を行った。

### (4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会共催事業） ※2

12月5日(日)、みどり台南町内会館において、参加人数を制限して、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し開催した。市内の小学1年生から中学1年生まで25名が参加し、クリスマスツリーや壁絵作りなどの創作活動、キャンドルサービスなどを行い、相互の親睦を深めた。

### (5) ちとせっ子雪あそび（千歳市子ども会育成連合会共催事業）（中止） ※2

市内の小中学生を対象に、サーモンパークにおいて2月6日(日)に雪上レクリエーションを開催する準備を進めたが、コロナ感染状況により開催を3月上旬に延期したものの、北海道にまん延防止等重点措置が適用されたため、中止とした。

※2 令和3年度事業計画において「新型コロナウイルス感染症の状況により実施を検討する事業」と位置付けていた事業 【再掲】

- ・ 緑の村キャンプ大会 ～ 中止
- ・ ちとせの子どもクリスマスの集い ～ 実施
- ・ ちとせっ子雪あそび ～ 中止

### 3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

千歳市内の幼稚園及び小・中学校等の学習活動に対応し、合計29回、延べ1,410名を受け入れ、「サケ稚魚放流体験」、「採卵と人工授精体験」、「アイヌ文化学習」、「水生生物観察会」などを実施した。また、市外の小・中・高等学校、大学については延べ41回、2,739名を受け入れ、研修を実施した。

学芸員が直接学校へ出向いて講義する講師派遣については、市内の小学校及び幼稚園3施設、延べ495名に対して「トバ作り体験」や「サケのふ化観察学習」などのテーマで5回実施した。また、公立千歳科学技術大学の生物学入門講座を2回、オンラインとのハイブリッドにて実施した。

(2) 職業体験への協力

職業体験、インターンシップ及び博物館学芸員実習の受入れを実施した。職業体験は、千歳市内の1中学校から3名の生徒を受け入れた。インターンシップは3大学4名、学芸員資格取得のための博物館実習は3大学計6名を受け入れた。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する、サケ稚魚のふ化放流を仲立ちとした岡山市と千歳市の児童・幼児の相互交流事業に協力した。児童及び学校関係者の行き来は新型コロナウイルス感染症流行のため中止となったが、代わって千歳中央ライオンズクラブ会員が岡山にサケ卵を届け、岡山の西大寺ライオンズクラブ会員が岡山で育てたサケ稚魚を千歳水族館にて放流し、その様子を撮影して岡山の担当学校に報告した。

(提供：サケ卵700粒)

1月10日(月・祝)： 岡山市出発へ向けてサケ使節団結団式

3月22日(火)： ライオンズクラブの会員が千歳川へサケ稚魚放流

(4) 各種生涯学習関連事業への協力(中止)

札幌市の地下歩行空間において開催予定の「第10回CISEサイエンスフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。



## ◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

### 1 水族館管理運営事業

#### (1) 常設展示

##### ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を水量266トンの大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内だけでなく海外の淡水魚類や甲殻類、サンショウウオやカメなどの両生・は虫類、鳥類のカイツブリや水生植物など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水生生物への興味関心を深めた。

また3月より、当館における初めてのほ乳類展示として、千歳川で繁殖している特定外来生物のアメリカミンクの展示を開始した。

##### イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類を中心とした全面アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）の体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽などにより、来館者が水辺の生き物をより身近に感じることができる場を設けた。

##### ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や、さけ・ます人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で解説。映像は2つのブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外からの来館者にも対応した。

##### エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、サケの生態や水中観察室における観察記録などに関する解説コーナーを設置した。DVDやコンピュータを用いた映像機器なども利用し、千歳川の生物やその営み、環境の変化などについて紹介し、より深い理解を図った。

##### オ なるほど！？サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳におけるサケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業の歴史などについて紹介した。また、千歳におけるアイヌ文化とサケの関わりについてパネルや映像、実物の漁具などを使って解説した「千歳アイヌのサケ文化」エリアでは、新たに「触れるマレク」の展示を追加し、漁具の仕組みを体感できるように改修した。また、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピも紹介した。

##### カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、稚魚放流体験の解説、採卵実習など各種体験教室の場として、また幼稚園や学校など団体の見学時における講話や雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図った。

## (2) 企画展示

### ア 企画展示

- ① スロープ展「2021千歳写友会写真展“支笏湖・千歳川・花”」  
4月12日(月)から5月17日(月)まで、千歳写友会の皆さんが支笏湖や千歳川、春の花などを中心に千歳市内で撮影した写真41点を展示した。
- ② GW特別展「のぞいてみよう！めだかの教室～北海道に“めだか”っているの？～」  
4月24日(土)から5月17日(月)まで、日本の在来メダカや改良品種メダカ、また海外のカラフルなメダカの仲間15種・品種を展示し、メダカの生態について小学校の授業風に解説した。
- ③ 夏季企画展「行った気分で楽しもう！ぐるっと全国水族館めぐり」  
7月22日(木・祝)から8月31日(火)まで、北海道から九州までの全国20施設にご協力いただき、各施設の紹介とともにそれぞれの施設におけるイチオシの生き物25種類を展示した。
- ④ キウス周堤墓群パネル展  
9月10日(金)から10月31日(日)まで、千歳川水中観察ゾーンのブースで、千歳市埋蔵文化財センターの協力を得て「キウス周堤墓群」の紹介パネル7点を展示した。
- ⑤ 絵画展「小島加奈子展“とーぼくばあさん支笏湖の森の絵物語”」  
9月13日(月)から10月3日(日)まで、画家の小島加奈子さんが支笏湖をテーマに描いた絵画作品19点と、撮影した粘菌類などの写真15点を展示した。
- ⑥ 動物画コンクール絵画展  
夏休み中に開催していた動物画コンクールの入賞作品2点を含む応募作品16点を、10月31日(日)から11月30日(火)まで、千歳川水中観察ゾーンにて展示した。
- ⑦ 写真展「千歳のアイヌ文化 記録写真展」  
11月8日(月)から12月19日(日)まで、千歳市在住の医師で写真家でもある柘嶺レイさんが撮影した、およそ30年ぶりに行われたチブ(丸木舟)製作過程の動画及び写真50点と、北海道大学に所蔵されていた昭和11年に行われた千歳最後のイオマンテ(クマ送り)の写真16点など、千歳のアイヌ文化に関わる貴重な記録映像を展示した。
- ⑧ 写真展「北海道の野鳥」  
3月12日(土)から4月10日(日)まで、写真家・尾田清昭氏が恵庭市内や近郊で撮影した、野鳥の写真18点を展示した。

### イ サケの成長過程による季節展示

#### ① 親魚展示

サケ属親魚の産卵遡上にあわせ、秋季にサケ属3種の回帰親魚を展示した。

- ・サケ : 9月 2日～12月13日
- ・カラフトマス : 9月 1日～10月11日
- ・ベニザケ : 9月 6日～12月21日

② 発眼卵展示

シャンパングラスに入れたサケの発眼卵をクリスマスまでは「グラスツリー」、クリスマス後は「グラスタワー」として展示した。

・展示期間 : 11月20日～ 1月10日

③ ふ化観察展示

水中観察ゾーンで、サケふるセミナーの採卵体験で得た受精卵を実施日ごとに6水槽に分けて、卵から稚魚まで展示した。

・展示期間 : 9月 20日～ 1月10日

ウ 季節ごとのテーマ水槽展示

季節の行事に合わせた企画水槽を、水中観察ゾーンに設置した。

・ハロウィン水槽 : 10月16日～10月31日

・クリスマス水槽 : 12月 4日～12月25日

・バレンタイン&ホワイトデー : 2月 1日～ 3月14日

エ 企画展「紅白魚合戦」

職員が紅組と白組に分かれて、それぞれのチームで「お正月」をテーマとした展示水槽を作り、来館者によるオンライン投票で優劣を競い合った。勝利した紅組に投票した方の中から抽選で5名の方に千歳水族館のグッズをプレゼントした。

・決戦期間展示 12月18日～12月28日

・勝負結果展示 1月 2日～ 1月10日

(3) 各種体験学習及びイベント

ア バックヤードツアー

希望する団体等に、水族館の裏側探検や餌やり体験などを行うバックヤードツアーを実施し、学校や一般団体など19団体669名が体験した。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使ったしおりの製作を通じ、アイヌ文化の一端に触れる体験学習を実施し、5学校366名が体験した。

ウ サケ稚魚放流体験

令和3年4月1日から令和3年5月17日まで及び令和4年3月1日から3月31日までの期間中、延べ21,522名の来館者がサケの回遊ルートや生態解説の後、サケ稚魚の放流を体験した。

令和3年5月18日から5月31日の期間は、緊急事態宣言の発令等による臨時休館のため中止した。

エ 季節のイベント・体験

飼育の日、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせ、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施した。

① 飼育の日イベント「ワクワクわーく体験」

(公社)日本動物園水族館協会が動物園・水族館の役割について広く普及啓発を図るために定めた4月19日(月)の「飼育(419)の日」にちなみ、4月17日(土)から19日(月)まで、大水槽展示魚への給餌やろ過槽掃除など、飼育スタッフの仕事の一部を体験するイベントを実施し30名が体験した。

- ② ゴールデンウィークイベント（中止）  
新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。
- ③ サーモンフェスティバル（中止）  
新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。
- ④ ライブ配信「見てみる！？“サケふる” ナマLive actⅡ」  
臨時休館中の5月18日(火)から6月30日(水)まで毎日、水槽に泳ぐ魚たちの様子や、エサやり解説「カモン・サーモン・ごはんだモン！」などをYouTubeにて配信した。
- ⑤ ホタルの夕べ  
8月7日(土)に「夏休み自然体験教室～水族館編～」で実施した「夜の水族館探険」の中でヘイケボタル点滅の観察会を行い、7組28名が参加した。
- ⑥ 浴衣・甚平で来館プレゼント  
8月13日(金)から15日(日)に、受付スタッフを中心に浴衣でお客様をお出迎えし、期間中に浴衣・甚平で来館された34名の方にオリジナルの限定缶バッジをプレゼントした。
- ⑦ 未来につながるLIVE配信“KIFU ZOO”  
動物園・水族館専門誌「どうぶつのくに」が立ち上げた有料ライブ配信を以下のテーマで4回実施した。
- ・「サケの季節がやってきた」 9月18日(土)
  - ・「早起きはサーモンのトク」 10月24日(日)
  - ・「メンテ休館の裏側大公開」 1月22日(土)
  - ・「アメリカミンクがやってきた」 3月27日(日)
- ⑧ ハロウィンイベントウィーク  
10月30日(土)から31日(日)の2日間、仮装して入館した子ども376名にお菓子、あめ玉を配布したほか、館内クイズラリーを実施し、985名が参加した。シニアリーダーも参加し、学習室でクイズラリー参加者の最終答え合わせを行い、885名に缶バッジと手作りのハロウィンメッセージカードをプレゼントした。また、10月中は館内にハロウィンにちなんだ装飾や企画水槽を設置した。
- ⑨ 鮭活イベント  
11月11日の「鮭の日」にちなみ、11月の週末に「鮭活イベント」として、サケの親魚に触ることができる「サケタッチ」、サケ皮を使った「しおり作り」、サケの骨を使った「サケ骨のストラップ作り」を実施した。
- ・サケタッチ  
屋外の常設テントに水槽を設置して、サケの親魚に触る体験を実施した。
 

11月 6日(土)	61組107名
11月21日(日)	79組143名
11月28日(日)	54組103名
  - ・サケ皮しおり  
2階学習室で、サケの皮を使ったしおり作りを実施した。
 

11月20日(土)	31組73名
-----------	--------
  - ・サケ骨のストラップ作り  
2階学習室で、サケの解剖見学と肩甲骨と烏口骨が繋がった「サケのサケ」を使ったストラップ作りを実施した。
 

11月27日(土)	12組32名
-----------	--------

⑩ クリスマスイベント

12月12日(日)から25日(土)まで、クリスマスイベントの期間を設けて次の3つのイベントを実施した。12月の館内はクリスマスツリーやイルミネーションなどの装飾を行い、クリスマスらしさを演出した。

・サンタダイバーと記念撮影

12月24日(金)・25日(土)に、支笏湖大水槽でのサンタダイバーによるエサやりと記念撮影を行い、延べ44組が参加した。

・オリジナルスノードーム作り体験

12月12日(日)、18日(土)に、オリジナルスノードーム作りを実施し、計35名が参加した。

・大水槽エサやり体験

12月24日(金)、25日(土)に、バックヤードツアーや大水槽エサやりなどの水族館飼育業務の体験を実施し、6組20名が参加した。

⑪ 新春イベント

1月2日(日)から1月11日(火)まで、新春イベントの期間を設け、以下の2つのイベントを実施した。

・干支ダイバーと記念撮影

12月19日(日)・26日(日)及び1月3日(月)に、支笏湖大水槽での干支ダイバー(虎)によるエサやりと記念撮影を行い、47名が参加した。

・来館者プレゼント

1月2日(日)の新春オープンにあわせ、来館者にオリジナルプリントお菓子や干支サモン缶バッジをプレゼントした。

⑫ 初夢プレゼント

1月2日(日)から10日(月・祝)まで、新春イベントとして、千歳川水中観察ゾーンにおいて「初夢」を募集し、367名の応募があり、5名の初夢を今年中に実現することとした。

また、令和3年1月2日(土)から11日(月・祝)まで、サモン神社内で募集した初夢の応募者43名の中から9名の初夢について、次のとおりプレゼント体験を実施した。

- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| ・「チンアナゴたちにエサやり」             | 11月16日 |
| ・「いろいろな魚たちにエサをあげてみたい」       | 11月19日 |
| ・「サケ搬入見学&搬入体験」              | 11月20日 |
| ・「カメレオンを近くでみてエサやり」          | 11月20日 |
| ・「チンアナゴの下の部分を見てみたい」         | 11月27日 |
| ・「デンキウナギ、テッポウウオ、カメレオンのエサやり」 | 11月28日 |
| ・「小水槽の中に入る」                 | 1月15日  |
| ・「水槽の魚を別の水槽に移してお掃除する体験」     | 1月22日  |
| ・「トビハゼがいる水槽のレイアウトを考えたい」     | 1月23日  |

⑬ 節分イベント

2月3日(木)に、節分イベントとして「鬼ダイバーと記念撮影&エサまき」を実施し、13組が参加した。

⑭ サケふるドキドキフォトキャンペーン

10月2日(土)から10月31日(日)まで、ハロウィン水槽の設置に合わせ、千歳水族館公式インスタグラムを利用し、オリジナルグッズが当たるフォトキャンペーンを実施した。

48点作品投稿があり、抽選で3名にグッズをプレゼントした。フォロアーは93名増加した。

オ 飼育係ちょこっと体験

土日祝日のほか、冬休みや春休みの期間に、有料で餌やり体験やバックヤードツアーなど、水族館飼育業務に関する体験を合計18回実施し、延べ165名が参加した。

カ その”サーモン”どこからきたの？ 海と日本PROJECT

10月2日(土)に、北海道大学及び回転寿司の北々亭千歳店と連携して学習室において開催した。親子連れなど22名が参加し、北海道大学の清水准教授によるサケの講話や、北々亭によるサケの解体実演、寿司握り体験などを通じて、食材としてのサケ資源の現状について認識を深めた。

キ じゃらんnet遊び体験予約

じゃらん限定のネット予約体験で、大水槽のエサやりも体験できるバックヤードツアーを開館中毎月実施し、延べ1,855名が参加した。

ク コイのエサやり体験

年間を通して平日を中心に、事前予約制・有料によりコイの水槽でエサやり体験を行い、延べ2,026名が参加した。

ケ アイヌ文化体験プログラム創出事業

サケと関わりの深い千歳のアイヌ文化を広く紹介するため、アイヌ施策推進交付金を利用し「鮭の日・アイヌフェスタ」を実施した。11月13日(土)には千歳アイヌ文化伝承保存会副会長 平井史郎氏による「アイヌとサケ文化」、14日(日)には公益財団法人北海道アイヌ協会副理事長・千歳アイヌ協会会長の中村吉雄氏による「アイヌ民族とは」と題した講演会を開催し、13日は27名、14日は28名の参加があった。

また、千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会の協力のもと、サーモンパークの池を利用して、30年ぶりに新設された「チブ(丸木舟)」と「マレク(回転式鉤鉚)」を使ったサケ漁の実演や体験を実施。2階学習室ではアイヌの木彫や、ムックリ作りの体験も行った。さらに、サーモンパークの広場や大水槽前のフロアにおいて古式舞踊や伝統楽器の演奏などを披露し、多くの来館者が観覧した。

#### (4) 入館者の拡大推進

##### ア 団体誘致活動

新型コロナウイルス感染拡大により、道内外や海外の旅行代理店等への訪問による旅行誘致活動は自粛していたが、11月から北海道観光振興機構が道外で開催した観光プロモーション（情報交換会・教育旅行説明会）に参加し、まん延防止等重点措置解除後の3月からは道内3市、道外3県の旅行代理店に直接訪問しプロモーション活動を実施した。

また、市内の幼稚園、保育園、小中学校、ホテルへPRパンフレットの設置・配布を行うとともに、近隣市町の幼稚園・保育園へ送付した。

全国の高等学校及び道内小中高等学校約6,700校、旅行代理店約500社に体験内容などを紹介したサケのふるさと千歳水族館のPRパンフレットを送付した。

##### ○観光プロモーション（北海道観光振興機構主催）

###### <道内>

11月 北海道観光商談会 札幌市

###### <道外>

11月 北海道情報交換会 富山県・石川県・熊本県・広島県・長野県

12月 北海道情報交換会 福岡県

北海道教育旅行説明会・相談会 大阪府・愛知県・東京都

1月 北海道観光情報交換会・北海道教育旅行プロモーション（ZOOM開催）  
香川県・茨城県・静岡県

##### ○旅行代理店プロモーション

###### <道内>

3月 旭川市・釧路市・帯広市

###### <道外>

3月 岐阜県・茨城県・栃木県

##### イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行った。

テレビ・ラジオやイベント等を通じた広告宣伝・PR活動は、次のとおり行った。

##### ① テレビ・ラジオCM

放送機関	放送内容	放送期間	本数	合計
テレビ	GW特別展	4月20日～4月30日	21	185
	夏季企画展	7月10日～7月23日	29	
	秋季PR	9月6日～9月25日	34	
	アイヌ事業	10月25日～11月12日	21	
	稚魚放流 アメリカミンク	3月1日～3月31日	49	
ラジオ	稚魚放流 アメリカミンク	3月16日～3月31日	31	

② RR活動

放送機関等	番組名	本数	合計
テレビ	どさんこワイド、今日ドキッほか	27	39
ラジオ	トピッカー、さっぽろ村ラジオほか	12	

ウ 多言語システムの提供

近年増加している海外からの小団体旅行（FIT）に対応するため、光IDシステム“LinkRay”により、来館者が持参のスマートフォンやタブレットにインストールした専用のアプリを用いて展示水槽や生物についての解説を日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、タイ語、韓国語の6言語での閲覧サービスを提供した。

エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke(ポッケ)」に、千歳市出身の声優・歌手の鈴木愛奈さんによるナレーションでサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを登録し、入館チケットと併せ有料で提供した。また、同ガイドに市内登録店舗にて使用可能な各種クーポンを付け、水族館見学における満足度の向上を図るだけでなく、周辺の観光施設や店舗へ周遊を促した。

オ ネットワークカメラによるリアル映像配信

ホームページにおいて、水中観察窓及びインディアン水車の様子をインターネットによるライブ映像として配信を継続した。また、受付カウンター横に設置した液晶モニターやエントランスホールの大型アクリルスクリーンにより、当日のイベントや展示情報を紹介し来館者の利用を促すとともに、感染症拡大防止対策等の注意喚起を実施した。

カ フロアマッピングの改修

水中観察ゾーンにいたるスロープ床面に、サケが旅の中で出会う海の生物の映像を追加し投影した。また、天井にランタン型のLED、壁面には反射鏡を新規追加し、空間の広さを演出し、千歳川の水中へ潜る期待感を高めるとともに、斬新な空間演出により話題性を高め集客を図った。

キ 市内小中学生年間パスポートの無料配布

市内の全小中学生に対し年間パスポートを年度当初に無料で配布した。

ク 道の駅機能との連携強化

- ① ピザドゥとのコラボ企画として、当日のレシートや入館券の提示で双方間での割引料金を適用した。
- ② 道の駅のスタンプラリー帳持参者に割引料金を適用し、125名の利用があった。
- ③ 千歳市の主催により道の駅と水族館を会場に実施された「アイヌの世界をサケと巡るナゾトキ『めざせ！約束の海(アトウイ)』」(臨時休館・事前予約期間・メンテナンス休館・まん延防止等重点措置期間は休止)において、謎解きキット持参者に割引料金を適用し、954名の利用があった。

ケ 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内に設置した売店にて、水族館のオリジナルグッズや開催中の企画展に関連した作家たちの作品やグッズなどを販売した。

(5) 千歳サケのふるさと村教授会との連携（年度末会員数 38名）

平成7年3月から当館のボランティアグループとして活動を開始。会員の1～3名が、毎日交代で館内の案内や展示解説等の活動を行うほか、当館が実施するイベント行事や展示などに支援と協力をいただいた。



## 2 年間パスポート会員の加入促進

### (1) 年間パスポート個人会員及び法人会員募集

新型コロナの影響による臨時休館に伴い、臨時休館中に有効期限内の年間パスポート会員については、有効期限を2か月延長した。

個人会員は、目標5,100人に対し5,307人であった。また、法人会員についても、目標100団体に対し102団体となり、何れも目標を上回る結果となった。

(単位 : 人・社 : 千円)

種 別		令和3年度		令和2年度		増 減	
区 分	年会費	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数計	金額計
大 人	1,500	4,518	6,777	4,575	6,862.5	△57	△85.5
高校生	1,500	18	27	18	27	0	0
小中生	500	771	385.5	674	337	97	48.5
計	—	5,307	7,189.5	5,267	7,226.5	40	△37
法人	10,000	102	1,020	95	950	7	70
合計	—	5,409	8,209.5	5,362	8,176.5	47	33

## 3 情報提供活動

### (1) 新聞連載

北海道新聞千歳恵庭版のエッセイ欄「せせらぎ」に千歳水族館の展示生物や千歳の自然などの情報を4回掲載した。

### (2) ホームページ・SNS

ホームページの国内アクセス件数は、北海道、東京、神奈川、大阪、愛知を中心に284,033件であった。また、海外では99カ国からのアクセスがあり、多い順にアメリカ、中国、台湾、カナダとなっていた。また、主なSNSの投稿とフォロワー数の状況は、次表のとおりであった。

SNS名	投稿数	フォロワー数 (R4.3.31現在)
Twitter	601	4,008
Facebook	41	1,225
Instagram	66	1,970
LINE	47	1,655
YouTube	43	453

### (3) サモンメール

特別展示等のイベント案内や、水中観察ゾーンの状況等をメールマガジンとして20回配信し、令和3年度末現在、登録者数は3,762名であった。

### (4) Wi-Fi利用

Wi-Fi利用者は累計で3,823名であったが、日本語の利用が100%、海外利用は0であった。

#### 4 新型コロナウイルス感染症の対応について

##### (1) 緊急事態宣言発令等の対応

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言や北海道における緊急事態措置、まん延防止等重点措置などの実施において、水族館として次のとおり対応した。

- ・ 5月14日～5月17日 開館時間の短縮（午前10時～午後4時）  
（千歳市新型コロナウイルス感染集中対策期間）
- ・ 5月18日～7月 2日 臨時休館  
（緊急事態宣言・緊急事態措置～まん延防止等重点措置・特定措置区域指定）
- ・ 8月16日～9月30日 入館者数制限（1時間100人）・事前予約制  
（緊急事態宣言・緊急事態措置～まん延防止等重点措置・特定措置区域指定）

##### (2) 感染防止の取組

館内では新型コロナ感染防止のため、「新北海道スタイル」及び「千歳水族館・新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」に基づき各種取組を実施した。

#### ※ 令和3年度 入館者状況

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、水族館では臨時休館、事前予約制、入場制限等の対応やプロモーション活動の制限があったほか、全国的に旅行や外出の制限・自粛など大きな影響があったが、総入館者数は前年度を11.6%上回る162,854人となり、目標を上回ることができた。

月別入館実績及び前年度対比は下表のとおりである。

(人)

区分	有料	無料	年間パスポート会員	計
4月	7,727	3,477	5,362 (※ 1,975)	16,566
5月	6,073	1,832	2,057 (※ 564)	9,962
6月	0	0	0 (※ 0)	0
7月	10,097	4,166	3,958 (※ 1,078)	18,221
8月	13,657	3,878	3,476 (※ 793)	21,011
9月	11,078	3,238	2,538 (※ 458)	16,854
10月	16,980	6,228	4,118 (※ 869)	27,326
11月	11,198	3,822	3,084 (※ 539)	18,104
12月	5,053	2,193	1,636 (※ 234)	8,882
1月	1,956	842	744 (※ 79)	3,542
2月	2,686	1,389	1,411 (※ 133)	5,486
3月	8,439	4,299	4,162 (※ 678)	16,900
合計	94,944	35,364	32,546 (※ 7,400)	162,854
前年度	84,985	31,707	29,226 (※ 5,171)	145,918
増減	9,959	3,657	3,320 (※ 2,229)	16,936
前年対比	111.7%	111.5%	111.4% (※ 143.1%)	111.6%

※年間パスポートのうち、市内小中学生の人数

## Ⅱ 役員に関する事項

(令和3年度末現在)

職名	氏名	就任年月日	備考
理事長	入口博美	R 2. 5. 28	
常務理事	南知秀	H29. 4. 1	
理事	石田肅一	R 2. 5. 28	(R4. 3. 31 辞任)
理事	田中秀典	H28. 5. 25	
理事	曙嘉輝	R 2. 5. 28	
理事	小田賢一	R 2. 5. 28	
理事	安藤孝雄	H24. 4. 1	
理事	千田義彦	R 2. 5. 28	
監事	諸橋真	R 3. 6. 4	
監事	小泉義隆	R 2. 11. 9	
評議員	橋本由美	R 2. 5. 28	(R4. 3. 31 辞任)
評議員	四方信次	H24. 4. 1	
評議員	福田誠	H24. 4. 1	
評議員	師岡郁彦	H28. 5. 25	
評議員	高井博和	R 2. 5. 28	
評議員	上野亜由美	R 2. 5. 28	
評議員	松本千恵子	H29. 11. 6	
評議員	開発治	H28. 5. 25	

### Ⅲ 職員に関する事項

#### 1 主要職員

(令和3年度末現在)

職名	氏名	発令年月日	備考
事務局長	井上晴雄	平成28年4月1日	
事務局次長兼 水族館館長	菊池基弘	平成27年4月1日	
事務局次長	菊池司	平成29年4月1日	

#### 2 職員

(令和3年度末現在)

区分	職員数	備考
職員	14	教育3人・水族館10人・法人1人
受付等任用職員	1	水族館
会計年度雇用職員	5	水族館
売店職員	2	水族館パートタイマー
合計	22	

## IV 理事会・評議員会の開催状況

### 1 理事会

開催	開催日	議案番号	付議案件	結果
第1回	3. 5. 14	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	令和2年度事業報告について 令和2年度会計決算報告について 令和2年度監査報告について 評議員会の招集について	決定 決定 決定 決定
第2回	3. 10. 25	報告第1号 報告第2号 議案第1号 議案第2号	役員の選任結果について 定款第22条第3項に基づく報告について 水族館の冬期開館時間の試行について 評議員会の招集について	報告済 報告済 決定 決定
第3回	4. 2. 8	報告第1号 議案第1号 議案第2号 議案第3号	職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について 令和4年度事業計画及び収支予算について 令和3年度第1回補正予算について 評議員会の招集について	報告済 決定 決定 決定
第4回	4. 3. 25	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号	定款第22条第3項に基づく報告について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について 評議員の辞任届の受理について 令和3年度第2回補正予算について	報告済 報告済 報告済 決定

### 2 評議員会

開催	開催日	議案番号	付議案件	結果
第1回 (定時)	3. 6. 4	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	令和2年度第2回補正予算について 会計年度雇用職員取扱規程の制定について 処務規程等の一部を改正する規程の制定について 就業規則等の一部を改正する規則の制定について 役員の辞任届の受理について 令和2年度事業報告について 令和2年度会計決算報告について 令和2年度監査報告について 役員の選任について	報告済 報告済 報告済 報告済 報告済 決定 決定 決定 決定
第2回	3. 11. 10	報告第1号 報告第2号	令和3年度業務執行状況及び予算執行状況について 水族館の冬期開館時間の試行について	報告済 報告済
第3回	4. 2. 21	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号	令和4年度事業計画及び収支予算について 令和3年度第1回補正予算について 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について	報告済 報告済 報告済 決定



## 令和3年度決算報告書





# I 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

○総括表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	1,530,860	1,371,634	159,226
預金	42,896,491	36,601,480	6,295,011
未収金	1,737,987	1,178,846	559,141
前払金	0	20,000	△ 20,000
流動資産合計	46,165,338	39,171,960	6,993,378
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
建物	70,569,520	72,201,185	△ 1,631,665
建物附属設備	31,906,855	37,184,410	△ 5,277,555
構築物	21,907,287	29,209,715	△ 7,302,428
什器備品	393,985	1,247,610	△ 853,625
退職給付引当資産	15,987,346	13,941,213	2,046,133
減価償却引当資産	46,290,800	34,290,800	12,000,000
修繕料引当資産	59,158,319	49,938,319	9,220,000
特定資産合計	246,214,112	238,013,252	8,200,860
その他の固定資産			
建物	213,192,282	223,399,607	△ 10,207,325
建物附属設備	13,618,064	15,040,768	△ 1,422,704
構築物	821,600	854,053	△ 32,453
機械装置	8,019,662	7,063,411	956,251
什器備品	9,816,725	6,573,711	3,243,014
地下観察護岸	2,018,594	3,027,889	△ 1,009,295
リース資産	142,884	714,420	△ 571,536
電話加入権	290,984	290,984	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	247,940,795	256,984,843	△ 9,044,048
固定資産合計	504,154,907	504,998,095	△ 843,188
<b>資産合計</b>	<b>550,320,245</b>	<b>544,170,055</b>	<b>6,150,190</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	44,927,637	37,943,798	6,983,839
前受金	8,102	85,739	△ 77,637
預り金	1,043,027	966,748	76,279
1年以内返済予定リース債務	142,884	571,536	△ 428,652
賞与引当金	4,591,487	4,212,956	378,531
流動負債合計	50,713,137	43,780,777	6,932,360
2 固定負債			
退職給付引当金	15,987,346	13,941,213	2,046,133
リース債務	0	142,884	△ 142,884
固定負債合計	15,987,346	14,084,097	1,903,249
<b>負債合計</b>	<b>66,700,483</b>	<b>57,864,874</b>	<b>8,835,609</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	228,326,766	222,172,039	6,154,727
千歳市出損金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	238,326,766	232,172,039	6,154,727
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 228,326,766)	( 222,172,039)	( 6,154,727)
2 一般正味財産	245,292,996	254,133,142	△ 8,840,146
(うち特定資産への充当額)	( 1,900,000)	( 1,900,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>483,619,762</b>	<b>486,305,181</b>	<b>△ 2,685,419</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>550,320,245</b>	<b>544,170,055</b>	<b>6,150,190</b>

## Ⅱ 令和3年度 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

### ○ 総括表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	200	1,000	△800	
基本財産受取利息	200	1,000	△800	
② 特定資産運用益	6,878	9,250	△2,372	
特定資産受取利息	6,878	9,250	△2,372	
③ 事業収益	68,902,947	66,689,725	2,213,222	
教育事業収入	152,700	120,600	32,100	
水族館管理運営事業収入	67,077,996	65,659,125	1,418,871	
体験料収入	1,672,251	910,000	762,251	
④ 受取会費	8,209,500	8,176,500	33,000	
個人会員会費収入	7,189,500	7,226,500	△37,000	
法人会員会費収入	1,020,000	950,000	70,000	
⑤ 受取補助金等	137,054,425	140,840,786	△3,786,361	
教育事業補助金収入	18,303,818	18,374,980	△71,162	
水族館管理運営事業補助金収入	81,368,105	76,951,692	4,416,413	
管理費補助金収入	9,459,045	10,209,633	△750,588	
特定資産取得補助金収入	2,078,185	1,608,238	469,947	
受取補助金等振替額	25,845,272	33,696,243	△7,850,971	
⑥ 雑収益	224,964	2,974,797	△2,749,833	
受取利息収入	325	240	85	
雑収益	224,639	2,974,557	△2,749,918	
⑦ 寄付金収入	3,164,313	0	3,164,313	
寄付金収入	3,164,313	0	3,164,313	
経常収益計	217,563,227	218,692,058	△1,128,831	
(2) 経常費用				
① 事業費	216,213,356	214,311,504	1,901,852	
役員報酬	1,267,111	1,774,808	△507,697	
給料手当	65,153,012	57,158,523	7,994,489	
賃金	1,070,515	8,246,660	△7,176,145	
賞与引当繰入額	4,143,585	3,752,816	390,769	
退職給付費用	1,879,443	1,473,996	405,447	
福利厚生費	11,466,342	11,522,435	△56,093	
報償費	703,300	327,500	375,800	
会議費	23,500	0	23,500	
旅費交通費	963,600	77,610	885,990	
通信運搬費	871,860	1,002,229	△130,369	
減価償却費	31,193,378	34,686,808	△3,493,430	
備品費	796,412	1,229,537	△433,125	
消耗品費	5,858,064	5,192,402	665,662	
修繕費	23,632,180	13,340,910	10,291,270	
印刷製本費	458,502	264,495	194,007	
光熱水費	24,041,703	22,501,491	1,540,212	
使用料及び賃借料	1,901,367	1,886,322	15,045	
車両経費	2,987,233	2,744,645	242,588	
保険料	1,599,410	1,356,599	242,811	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
手数料	1,100,752	1,033,133	67,619	
諸謝金	233,676	230,287	3,389	
交際費	14,000	2,000	12,000	
食糧費	84,407	56,440	27,967	
宣伝広告費	10,806,014	11,528,241	△722,227	
イベント費	4,643,192	2,619,609	2,023,583	
委託料	13,813,989	12,564,044	1,249,945	
原材料費	183,075	102,278	80,797	
租税公課	2,322,200	10,709,319	△8,387,119	
負担金	1,379,060	1,164,150	214,910	
外注費	1,320,000	5,440,050	△4,120,050	
雑費	302,474	322,167	△19,693	
② 管理費	10,178,957	10,857,432	△678,475	
役員報酬	1,825,730	2,624,605	△798,875	
給料手当	3,531,517	3,205,456	326,061	
賞与引当繰入額	447,902	460,140	△12,238	
退職給付費用	198,742	134,242	64,500	
福利厚生費	1,014,079	1,040,747	△26,668	
会議費	7,601	9,044	△1,443	
通信運搬費	17,000	23,000	△6,000	
減価償却費	533,382	558,188	△24,806	
消耗品費	21,424	53,515	△32,091	
光熱水費	1,370,619	1,284,386	86,233	
使用料及び賃借料	587,400	587,400	0	
保険料	89,451	73,518	15,933	
諸謝金	514,360	514,360	0	
租税公課	17,000	285,531	△268,531	
雑費	2,750	3,300	△550	
経常費用計	226,392,313	225,168,936	1,223,377	
当期経常増減額	△8,829,086	△6,476,878	△2,352,208	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等振替額	1	0	1	
経常外収益計	1	0	1	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	11,061	1	11,060	
経常外費用計	11,061	1	11,060	
当期経常外増減額	△11,060	△1	△11,059	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△8,840,146	△6,476,879	△2,363,267	
一般正味財産期首残高	254,133,142	260,610,021	△6,476,879	
一般正味財産期末残高	245,292,996	254,133,142	△8,840,146	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金(指定)	32,000,000	42,000,000	△10,000,000	
一般正味財産への振替額	25,845,273	33,696,243	△7,850,970	
当期指定正味財産増減額	6,154,727	8,303,757	△2,149,030	
指定正味財産期首残高	232,172,039	223,868,282	8,303,757	
指定正味財産期末残高	238,326,766	232,172,039	6,154,727	
III 正味財産期末残高	483,619,762	486,305,181	△2,685,419	

# 令和3年度 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

○ 会計区分表

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	200	0	200	
基本財産受取利息	200	0	200	
② 特定資産運用益	6,852	26	6,878	
特定資産受取利息	6,852	26	6,878	
③ 事業収益	68,902,947		68,902,947	
教育事業収入	152,700		152,700	
水族館管理運営事業収入	67,077,996		67,077,996	
体験料収入	1,672,251		1,672,251	
④ 受取会費	8,209,500		8,209,500	
個人会員会費収入	7,189,500		7,189,500	
法人会員会費収入	1,020,000		1,020,000	
⑤ 受取補助金等	127,396,638	9,657,787	137,054,425	
教育事業補助金収入	18,303,818		18,303,818	
水族館管理運営事業補助金収入	81,368,105		81,368,105	
管理費補助金収入		9,459,045	9,459,045	
特定資産取得補助金収入	1,879,443	198,742	2,078,185	
受取補助金等振替額	25,845,272		25,845,272	
⑥ 雑収益	224,964		224,964	
受取利息収入	325		325	
雑収益	224,639		224,639	
⑦ 寄付金収入	3,164,313		3,164,313	
寄付金収入	3,164,313		3,164,313	
経常収益計	207,905,414	9,657,813	217,563,227	
(2) 経常費用				
① 事業費	216,213,356		216,213,356	
役員報酬	1,267,111		1,267,111	
給料手当	65,153,012		65,153,012	
賃金	1,070,515		1,070,515	
賞与引当繰入額	4,143,585		4,143,585	
退職給付費用	1,879,443		1,879,443	
福利厚生費	11,466,342		11,466,342	
報償費	703,300		703,300	
会議費	23,500		23,500	
旅費交通費	963,600		963,600	
通信運搬費	871,860		871,860	
減価償却費	31,193,378		31,193,378	
備品費	796,412		796,412	
消耗品費	5,858,064		5,858,064	
修繕費	23,632,180		23,632,180	
印刷製本費	458,502		458,502	
光熱水費	24,041,703		24,041,703	
使用料及び賃借料	1,901,367		1,901,367	
車両経費	2,987,233		2,987,233	
保険料	1,599,410		1,599,410	

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
手数料	1,100,752		1,100,752	
諸謝金	233,676		233,676	
交際費	14,000		14,000	
食糧費	84,407		84,407	
宣伝広告費	10,806,014		10,806,014	
イベント費	4,643,192		4,643,192	
委託料	13,813,989		13,813,989	
原材料費	183,075		183,075	
租税公課	2,322,200		2,322,200	
負担金	1,379,060		1,379,060	
外注費	1,320,000		1,320,000	
雑費	302,474		302,474	
② 管理費		10,178,957	10,178,957	
役員報酬		1,825,730	1,825,730	
給料手当		3,531,517	3,531,517	
賞与引当繰入額		447,902	447,902	
退職給付費用		198,742	198,742	
福利厚生費		1,014,079	1,014,079	
会議費		7,601	7,601	
通信運搬費		17,000	17,000	
減価償却費		533,382	533,382	
消耗品費		21,424	21,424	
光熱水費		1,370,619	1,370,619	
使用料及び賃借料		587,400	587,400	
保険料		89,451	89,451	
諸謝金		514,360	514,360	
租税公課		17,000	17,000	
雑費		2,750	2,750	
経常費用計	216,213,356	10,178,957	226,392,313	
当期経常増減額	△8,307,942	△521,144	△8,829,086	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等振替額	1	0	1	
経常外収益計	1	0	1	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	11,061	0	11,061	
経常外費用計	11,061	0	11,061	
当期経常外増減額	△11,060	0	△11,060	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△8,319,002	△521,144	△8,840,146	
一般正味財産期首残高	-	-	254,133,142	
一般正味財産期末残高	-	-	245,292,996	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	32,000,000	0	32,000,000	
一般正味財産への振替額	25,845,273	0	25,845,273	
当期指定正味財産増減額	6,154,727	0	6,154,727	
指定正味財産期首残高	-	-	232,172,039	
指定正味財産期末残高	-	-	238,326,766	
III 正味財産期末残高	-	-	483,619,762	

### Ⅲ 財務諸表に対する注記

#### 1 重要な会計方針

##### (1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・建物附属設備・構築物・機械装置・車両運搬具・什器備品・地下観察護岸  
固定資産の減価償却方法は法定償却方法による。

##### ② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産は  
リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

##### (2) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

##### ② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上して  
いる。

##### (3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理方式によっている。

#### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
(特定資産)				
建物	72,201,185	0	1,631,665	70,569,520
建物附属設備	37,184,410	0	5,277,555	31,906,855
構築物	29,209,715	0	7,302,428	21,907,287
什器備品	1,247,610	0	853,625	393,985
退職給付引当資産	13,941,213	2,078,185	32,052	15,987,346
減価償却引当資産	34,290,800	12,000,000	0	46,290,800
修繕料引当資産	49,938,319	20,000,000	10,780,000	59,158,319
小 計	238,013,252	34,078,185	25,877,325	246,214,112
合 計	248,013,252	34,078,185	25,877,325	256,214,112

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	( 10,000,000)	( 0)	( 0)
小 計	10,000,000	( 10,000,000)	( 0)	( 0)
(特定資産)				
建物	70,569,520	( 70,569,520)	( 0)	( 0)
建物附属設備	31,906,855	( 31,906,855)	( 0)	( 0)
構築物	21,907,287	( 21,907,287)	( 0)	( 0)
什器備品	393,985	( 393,985)	( 0)	( 0)
退職給付引当資産	15,987,346	( 0)	( 0)	( 15,987,346)
減価償却引当資産	46,290,800	( 44,390,800)	( 1,900,000)	( 0)
修繕料引当資産	59,158,319	( 59,158,319)	( 0)	( 0)
小 計	246,214,112	( 228,326,766)	( 1,900,000)	( 15,987,346)
合 計	256,214,112	( 238,326,766)	( 1,900,000)	( 15,987,346)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建物(特定資産)	81,583,258	11,013,738	70,569,520
建物附属設備(特定資産)	87,104,096	55,197,241	31,906,855
構築物(特定資産)	104,867,482	82,960,195	21,907,287
什器備品(特定資産)	46,662,834	46,268,849	393,985
特定資産計	320,217,670	195,440,023	124,777,647
建物(その他)	742,814,962	529,622,680	213,192,282
建物附属設備(その他)	293,294,314	279,676,250	13,618,064
構築物(その他)	12,572,850	11,751,250	821,600
機械装置(その他)	244,486,245	236,466,583	8,019,662
什器備品(その他)	43,684,176	33,867,451	9,816,725
地下観察護岸(その他)	100,929,561	98,910,967	2,018,594
リース資産(その他)	4,000,752	3,857,868	142,884
その他資産計	1,441,782,860	1,194,153,049	247,629,811
合 計	1,762,000,530	1,389,593,072	372,407,458

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
教育事業補助金	千歳市	0	18,303,818	18,303,818	0	
水族館管理運営事業補助金	千歳市	0	81,001,000	81,001,000	0	
水族館管理運営事業補助金	北海道労働局	0	367,105	367,105	0	
水族館再整備事業補助金	千歳市	139,842,919	0	15,065,273	124,777,646	指定正味財産
管理費補助金	千歳市	0	9,459,045	9,459,045	0	
特定資産取得補助金	千歳市	82,329,119	32,000,000	10,780,000	103,549,119	指定正味財産
特定資産取得補助金(退職給付引当金分)	千歳市	13,437,512	2,078,185	32,052	15,483,645	固定負債
市内観光施設基盤強化事業補助金	千歳市	1	0	0	1	指定正味財産
合 計		235,609,551	143,209,153	135,008,293	243,810,411	

平成27年度から補助金の内訳を正味財産ベースに変更した。

水族館再整備事業補助金には、資産取得の為の特定資産取崩収入を含めている。

(平成26年度取崩 16,040,000円、平成27年度取崩 48,000,000円)

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上及び特定資産取崩による振替額	25,845,272
経常外収益への振替額	
資産除却による振替額	1
合 計	25,845,273



## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 北洋銀行千歳中央支店	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	建 物	72,201,185	0	1,631,665	70,569,520
	建物附属設備	37,184,410	0	5,277,555	31,906,855
	構 築 物	29,209,715	0	7,302,428	21,907,287
	什 器 備 品	1,247,610	0	853,625	393,985
	退職給付引当資産	13,941,213	2,078,185	32,052	15,987,346
	減価償却引当資産	34,290,800	12,000,000	0	46,290,800
	修繕料引当資産	49,938,319	20,000,000	10,780,000	59,158,319
	特定資産計	238,013,252	34,078,185	25,877,325	246,214,112

### 2. 引当金の明細

#### 賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,212,956	4,591,487	4,212,956	0	4,591,487

#### 職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職 給付引当金	13,941,213	2,078,185	32,052	0	15,987,346



## IV 財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	242,270
		現金釣り銭		950,000
		売上現金		338,590
			<現金計>	1,530,860
	預金	普通預金		
		北海道銀行千歳支店	運転資金として	4,339,517
		北央信用組合末広支店	運転資金として	174,639
		北洋銀行千歳中央支店	運転資金として	38,197,866
		北央信用組合千歳支店	運転資金として	4,633
		北海道信用金庫千歳支店	運転資金として	179,836
		<預金計>	42,896,491	
未収金	旅行代理店他21件	公益事業に供する入館料収入等の未収入分	1,737,987	
<b>流動資産合計</b>			<b>46,165,338</b>	
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	基本財産	定期預金		
	引当資産	北洋銀行千歳中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000
特定資産	建物	リニューアル 改修工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	70,569,520
		千歳市花園2丁目312番地		
	建物附属設備	リニューアル 空調換気設備他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	8,720,427
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 電気設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	8,944,473
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 水槽配管工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	8,598,029
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル エレベーター工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	5,643,926
		千歳市花園2丁目312番地		
			<建物附属設備計>	31,906,855
	構築物	リニューアル 水槽展示工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	21,907,287
		千歳市花園2丁目312番地		
	什器備品	リニューアル パネル他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	5
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル ロビーチェア他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	393,972
		千歳市花園2丁目312番地		
		Wi-Fi設備設置工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル パソコン・プロジェクター他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 除湿器他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	2
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 放送設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
			<什器備品計>	393,985
	退職給付引当資産	定期預金		
北海道信用金庫千歳支店		従業員の退職金支払に備えたもの	15,987,346	
減価償却引当資産	普通預金			
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため	26,290,800	
	定期預金			
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため	20,000,000	
		<修繕料引当資産計>	46,290,800	
修繕料引当資産	普通預金			
	北洋銀行千歳中央支店	公益事業の修繕のため	39,158,319	
	定期預金			
	北央信用組合末広支店	公益事業の修繕のため	20,000,000	
		<修繕料引当資産計>	59,158,319	
		<<特定資産計>>	246,214,112	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の 固定資産	建物	水族館 建物本体(1棟) 2,981.672㎡ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	199,435,988
		泉沢飼育棟 (1棟) 218.4㎡ 千歳市泉沢1000番地7地先 物置等 (4棟)	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	11,172,027 2,558,398
		千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	25,869
			<建物計>	213,192,282
	建物附属設備	水族館 給排水電灯設備他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	13,618,057
		泉沢飼育棟 電気・給排水設備 千歳市泉沢1000番地7地先	管理目的に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4 3
			<建物附属設備計>	13,618,064
	構築物	水族館 展示水槽 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1
		泉沢飼育棟 飼育水槽他 (9台) 千歳市泉沢1000番地7地先	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9
		地下水井戸 (1台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	821,590
			<構築物計>	821,600
	機械装置	水族館 濾過機械配管装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3
		水族館 取水装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	6,988,779
		水族館 動力計装設備 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2
		水族館 ボイラー・循環装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	800,981
			管理目的使用に使用している	20,857
		水族館 展示水槽監視システム 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	209,037
		水族館 テレビモニター他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3
			<機械装置計>	8,019,662
	什器備品	展示水槽他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	119,625
物置冷蔵庫ポンプ他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	779,025	
サケ模型 (8台) 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8	
顕微鏡他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	86,379	
サモン着ぐるみ 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2	
除雪機他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	207,999	
パソコン他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	7,312,380	
芳名板他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	513,869	
電話主装置取替 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	797,438	
		<什器備品計>	9,816,725	

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	地下観察護岸	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2,018,594
	リース資産	車いす用階段昇降機 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	142,884
	電話加入権	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業 に使用している	290,984
	出資金	北央信用組合千歳支店 北海道信用金庫千歳支店	公益目的保有財産 公益目的保有財産	10,000 10,000
			<出資金計>	20,000
			<<その他の固定資産計>>	247,940,795
固定資産合計				504,154,907
資産合計				550,320,245
(流動負債)	未払金	(株)かなまる他97件	公益事業に供する消耗品購入等の未払い分	44,927,637
	前受金	JTB他2件	公益事業に供する入館料前受け分	8,102
	預り金	新さっぽろ年金事務所 千歳市 長沼町 恵庭市 札幌南税務署	役職員の社会保険料の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の源泉所得税の預かり分	678,771 224,100 12,200 22,000 105,956
			<預り金計>	1,043,027
	1年以内返済予定 リース債務	日立キャピタル(株)	公益事業に供する 車いす用階段昇降機	142,884
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員に対する賞与引当分	4,591,487
流動負債合計				50,713,137
(固定負債)	退職給付 引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に 従事する職員の退職給付金	15,987,346
固定負債合計				15,987,346
負債合計				66,700,483
正味財産				483,619,762
うち	一般正味財産			245,292,996
	指定正味財産			238,326,766

## V 収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

### ○ 総括表

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
中 科 目			
小 科 目			
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	200	0	200
② 特定資産運用収入	6,852	26	6,878
③ 事業収入	68,902,947	0	68,902,947
④ 会費収入	8,209,500	0	8,209,500
⑤ 補助金等収入	133,551,366	9,657,787	143,209,153
⑥ 雑収入	224,964	0	224,964
⑦ 寄付金収入	3,164,313	0	3,164,313
事業活動収入計 (A)	214,060,142	9,657,813	223,717,955
2 事業活動支出			
① 事業費支出	182,781,818	0	182,781,818
② 管理費支出	0	9,459,071	9,459,071
事業活動支出計 (B)	182,781,818	9,459,071	192,240,889
事業活動収支差額(A) - (B) (C)	31,278,324	198,742	31,477,066

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計	
				中 科 目
				小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	10,812,052	0	10,812,052	
投資活動収入計(D)	10,812,052	0	10,812,052	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	33,879,443	198,742	34,078,185	
② 固定資産取得支出	7,628,500	0	7,628,500	
投資活動支出計(E)	41,507,943	198,742	41,706,685	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 30,695,891	△ 198,742	△ 30,894,633	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計(G)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他の財務活動支出	571,536	0	571,536	
財務活動支出計(H)	571,536	0	571,536	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 571,536	0	△ 571,536	
当期収支差額 (C)+(F)+(I) 【A】	10,897	0	10,897	
前期繰越収支差額 【B】	175,675	0	175,675	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	186,572	0	186,572	

**V 収 支 計 算 書**  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

○ 公益目的事業会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
<b>I 事業活動収支の部</b>							
<b>1 事業活動収入</b>							
① 基本財産運用収入	1,000	0	0	1,000	200	800	
1 基本財産利息収入	1,000	0	0	1,000	200	800	
② 特定資産運用収入	2,000	4,000	0	6,000	6,852	△ 852	
1 特定資産利息収入	2,000	4,000	0	6,000	6,852	△ 852	
③ 事業収入	62,399,000	2,912,000	0	65,311,000	68,902,947	△ 3,591,947	
1 教育事業収入	483,000	△ 318,000	0	165,000	152,700	12,300	
2 水族館管理運営 事業収入	61,466,000	2,160,000	0	63,626,000	67,077,996	△ 3,451,996	
3 体験料収入	450,000	1,070,000	0	1,520,000	1,672,251	△ 152,251	
④ 会費収入	7,630,000	0	0	7,630,000	8,209,500	△ 579,500	
1 個人会員会費収入	6,630,000	0	0	6,630,000	7,189,500	△ 559,500	
2 法人会員会費収入	1,000,000	0	0	1,000,000	1,020,000	△ 20,000	
⑤ 補助金等収入	140,702,000	△ 3,533,000	0	137,169,000	133,551,366	3,617,634	
1 教育事業補助金収入	19,468,000	0	0	19,468,000	18,303,818	1,164,182	
2 水族館管理運営 事業補助金収入	87,301,000	△ 3,533,000	0	83,768,000	81,368,105	2,399,895	
4 特定資産取得 補助金収入	33,933,000	0	0	33,933,000	33,879,443	53,557	
⑥ 雑収入	51,000	0	0	51,000	224,964	△ 173,964	
1 運用財産利息収入	1,000	0	0	1,000	325	675	
2 雑収入	50,000	0	0	50,000	224,639	△ 174,639	
⑦ 寄付金収入	0	3,164,000	0	3,164,000	3,164,313	△ 313	
1 寄付金収入	0	3,164,000	0	3,164,000	3,164,313	△ 313	
事業活動収入計(A)	210,785,000	2,547,000	0	213,332,000	214,060,142	△ 728,142	



備	考
基本財産利息	
特定資産利息	
教育事業参加者負担金収入	
入館料収入等、有料入館者数 94,944 人	
個人会員 販売数 5,307名	
法人会員 販売数 102件	
千歳市補助金 81,001,000円、緊急雇用安定助成金 367,105円	
特定資産取得支出充当	
運用財産利息	

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)
中 科 目						
小 科 目						
2 事業活動支出						
① 事業費支出	193,550,000	△ 5,336,000	0	188,214,000	182,781,818	5,432,182
1 教育事業費支出	19,951,000	△ 318,000	0	19,633,000	18,456,568	1,176,432
役員報酬支出	320,000	0	0	320,000	316,778	3,222
給料手当支出	13,828,000	△ 200,000	0	13,628,000	13,463,000	165,000
福利厚生費支出	2,523,000	△ 50,000	0	2,473,000	2,301,022	171,978
報償費支出	369,000	406,000	0	775,000	703,300	71,700
旅費交通費支出	23,000	0	0	23,000	1,940	21,060
通信運搬費支出	124,000	0	0	124,000	83,223	40,777
消耗品費支出	412,000	△ 114,000	0	298,000	85,453	212,547
印刷製本費支出	44,000	0	0	44,000	0	44,000
光熱水費支出	19,000	0	0	19,000	0	19,000
使用料及び賃借料支出	490,000	△ 400,000	0	90,000	46,420	43,580
車両経費支出	993,000	210,000	0	1,203,000	1,000,092	202,908
保険料支出	72,000	0	0	72,000	24,161	47,839
手数料支出	4,000	0	0	4,000	0	4,000
食糧費支出	257,000	△ 170,000	0	87,000	42,049	44,951
原材料費支出	0	0	0	0	0	0
負担金支出	404,000	0	0	404,000	385,060	18,940
雑支出	69,000	0	0	69,000	4,070	64,930
2 水族館管理運営事業費支出	173,599,000	△ 5,018,000	0	168,581,000	164,325,250	4,255,750
役員報酬支出	958,000	0	0	958,000	950,333	7,667
給料手当支出	57,825,000	△ 2,300,000	0	55,525,000	55,442,828	82,172
賃金支出	1,286,000	△ 100,000	0	1,186,000	1,070,515	115,485
退職給付支出	0	33,000	0	33,000	32,052	948
福利厚生費支出	10,560,000	△ 1,100,000	0	9,460,000	9,165,320	294,680

備	考
教育事業費支出の説明	
・人件費	16,080,800
職員        3人	
・車両リース等車両経費	1,000,092
・夏休み自然体験教室経費	11,110
・サーモンツアー経費	8,020
・サケふるセミナー等経費	18,641
・ジュニア・シニアリーダー活動事業経費	51,483
・体験学習経費	38,000
・青少年育成推進員経費	680,970
・ちとせの子どもクリスマス集いの経費	35,280
・子ども会関係経費	380,940
・その他経費	151,232
水族館管理運営事業費支出の説明	
・人件費	66,661,048
職員・会計年度雇用職員        16人	56,393,161
パートタイマー                  2人	1,070,515
退職金	32,052
福利厚生費	9,165,320

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
会議費支出	60,000	0	0	60,000	23,500	36,500	
旅費交通費支出	1,711,000	△ 600,000	0	1,111,000	961,660	149,340	
通信運搬費支出	1,088,000	△ 100,000	0	988,000	788,637	199,363	
備品費支出	0	800,000	0	800,000	796,412	3,588	
消耗品費支出	7,888,000	△ 1,153,000	0	6,735,000	5,772,611	962,389	
修繕費支出	17,270,000	6,384,000	0	23,654,000	23,632,180	21,820	
印刷製本費支出	661,000	△ 200,000	0	461,000	458,502	2,498	
光熱水費支出	25,252,000	△ 1,000,000	0	24,252,000	24,041,703	210,297	
使用料及び賃借料支出	2,567,000	△ 650,000	0	1,917,000	1,854,947	62,053	
車両経費支出	2,392,000	△ 292,000	0	2,100,000	1,987,141	112,859	
保険料支出	2,151,000	△ 570,000	0	1,581,000	1,575,249	5,751	
手数料支出	1,263,000	0	0	1,263,000	1,100,752	162,248	
諸謝金支出	321,000	0	0	321,000	233,676	87,324	
交際費支出	50,000	0	0	50,000	14,000	36,000	
食糧費支出	50,000	0	0	50,000	42,358	7,642	
宣伝広告費支出	11,904,000	△ 460,000	0	11,444,000	10,806,014	637,986	
イベント費支出	5,964,000	△ 1,170,000	0	4,794,000	4,643,192	150,808	
委託料支出	15,923,000	△ 1,800,000	0	14,123,000	13,813,989	309,011	
原材料費支出	330,000	0	0	330,000	183,075	146,925	
租税公課支出	3,060,000	△ 600,000	0	2,460,000	2,322,200	137,800	
負担金支出	1,248,000	△ 140,000	0	1,108,000	994,000	114,000	
外注費支出	1,320,000	0	0	1,320,000	1,320,000	0	
雑支出	497,000	0	0	497,000	298,404	198,596	
事業活動支出計(B)	193,550,000	△ 5,336,000	0	188,214,000	182,781,818	5,432,182	
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	17,235,000	7,883,000	0	25,118,000	31,278,324	△ 6,160,324	

備	考
水族館管理運営事業費支出の説明	
・施設維持管理経費	41,753,287
・宣伝活動経費	13,155,636
・租税公課	2,322,200
・クーポン券等手数料	1,100,752
・展示魚収集飼育経費	2,657,158
・入場券印刷経費	947,836
・車両リース等経費	1,987,141
・イベント開催経費	4,643,192
・電話郵便等通信費	743,889
・電気・機械設備等修繕費	23,632,180
・調査研究経費	33,140
・アイヌ事業外注費	1,320,000
・その他経費	3,367,791

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>							
1 投資活動収入							
① 特定資産取崩収入	24,200,000	△ 7,184,000	0	17,016,000	10,812,052	6,203,948	
1 退職給付引当 資産取崩収入	0	33,000	0	33,000	32,052	948	
2 減価償却引当 資産取崩収入	6,930,000	△ 6,639,000	0	291,000	0	291,000	
3 修繕料引当 資産取崩収入	17,270,000	△ 578,000	0	16,692,000	10,780,000	5,912,000	
投資活動収入計(D)	24,200,000	△ 7,184,000	0	17,016,000	10,812,052	6,203,948	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	33,933,000	0	0	33,933,000	33,879,443	53,557	
1 退職給付引当 資産取得支出	1,933,000	0	0	1,933,000	1,879,443	53,557	
2 減価償却引当 資産取得支出	12,000,000	0	0	12,000,000	12,000,000	0	
3 修繕料引当 資産取得支出	20,000,000	0	0	20,000,000	20,000,000	0	
② 固定資産取得支出	6,930,000	699,000	0	7,629,000	7,628,500	500	
1 建物附属設備取得支出	0	0	0	0	0	0	
2 機械装置取得支出	2,200,000	0	0	2,200,000	2,200,000	0	
3 什器・備品購入支出	4,730,000	699,000	0	5,429,000	5,428,500	500	
投資活動支出計(E)	40,863,000	699,000	0	41,562,000	41,507,943	54,057	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 16,663,000	△ 7,883,000	0	△ 24,546,000	△ 30,695,891	6,149,891	
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>							
1 財務活動収入							
財務活動収入計(G)	0	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出							
① 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
1 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
② その他の財務活動支出	572,000	0	0	572,000	571,536	464	
1 1年以内リース債務	572,000	0	0	572,000	571,536	464	
財務活動支出計(H)	572,000	0	0	572,000	571,536	464	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 572,000	0	0	△ 572,000	△ 571,536	△ 464	
当期収支差額 (C) + (F) + (I) 【A】	0	0	0	0	10,897	△ 10,897	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	175,675	△ 175,675	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	186,572	△ 186,572	



## V 収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

### ○ 法人会計

(単位:円)

大科目	当初予算額	補正額	流(充)用額	予算現額 (a)	決算額 (b)	差異 (a) - (b)
中科目						
小科目						
<b>I 事業活動収支の部</b>						
<b>1 事業活動収入</b>						
② 特定資産運用収入	0	0	0	0	26	△ 26
1 特定資産利息収入	0	0	0	0	26	△ 26
⑤ 補助金等収入	10,772,000	0	0	10,772,000	9,657,787	1,114,213
3 管理費補助金収入	10,567,000	0	0	10,567,000	9,459,045	1,107,955
4 特定資産取得補助金収入	205,000	0	0	205,000	198,742	6,258
事業活動収入計(A)	10,772,000	0	0	10,772,000	9,657,813	1,114,187
<b>2 事業活動支出</b>						
② 管理費支出	10,567,000	0	0	10,567,000	9,459,071	1,107,929
1 一般管理費支出	10,567,000	0	0	10,567,000	9,459,071	1,107,929
役員報酬支出	2,907,000	△ 200,000	0	2,707,000	1,999,865	707,135
給料手当支出	3,850,000	0	0	3,850,000	3,817,522	32,478
福利厚生費支出	987,000	200,000	0	1,187,000	1,014,079	172,921
会議費支出	20,000	0	0	20,000	7,601	12,399
通信運搬費支出	23,000	0	0	23,000	17,000	6,000
消耗品費支出	55,000	0	0	55,000	21,424	33,576
光熱水費支出	1,439,000	0	0	1,439,000	1,370,619	68,381
使用料及び賃借料支出	588,000	0	0	588,000	587,400	600
保険料支出	120,000	0	0	120,000	89,451	30,549
諸謝金支出	515,000	0	0	515,000	514,360	640
租税公課支出	50,000	0	0	50,000	17,000	33,000
雑支出	13,000	0	0	13,000	2,750	10,250
事業活動支出計(B)	10,567,000	0	0	10,567,000	9,459,071	1,107,929
事業活動収支差額(A) - (B) (C)	205,000	0	0	205,000	198,742	6,258



備

考

退職給付引当費用分

一般管理費支出の説明

・人件費	6,831,466
常勤役員 1人	2,255,802
理事 評議員 報酬	99,200
職員 1人	4,476,464
・光熱水費等施設管理費	1,370,619
・財務会計システムリース料	587,400
・税理士報酬等経費	514,360
・その他の経費	155,226

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
II 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
投資活動収入計(D)	0	0	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	205,000	0	0	205,000	198,742	6,258	
1 退職給付引当 資産取得支出	205,000	0	0	205,000	198,742	6,258	
投資活動支出計(E)	205,000	0	0	205,000	198,742	6,258	
投資活動収支差額(D) - (E) (F)	△ 205,000	0	0	△ 205,000	△ 198,742	△ 6,258	
当期収支差額(C) + (F) 【A】	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	0	0	

備 考



## VI 収支計算書に対する注記

### ○ 総括

#### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

#### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	37,973,114	44,427,351
未収金	1,178,846	1,737,987
前払金	20,000	0
合 計	39,171,960	46,165,338
未払金	37,943,798	44,927,637
前受金	85,739	8,102
預り金	966,748	1,043,027
合 計	38,996,285	45,978,766
次期繰越収支差額	175,675	186,572

# 令和3年度監査報告書

公益財団法人千歳青少年教育財団


理事長 入口 博 美 殿

令和4年5月10日

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事 小泉義隆 

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事 諸橋 真 

監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。





## 参 考 资 料

(参考資料)

令和3年度 正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで  
公益財団法人 千歳青少年教育財団

(単位:円)

科目	公益目的事業会計			法人会計 (管理費)	内部取引 消去	合計 (A)	令和2年度 決算(B)	増減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	200	0	0	200	1,000	△ 800
基本財産受取利息	0	0	200	0	0	200	1,000	△ 800
(2) 特定資産運用益	50	6,802	0	26	0	6,878	9,250	△ 2,372
特定資産受取利息	50	6,802	0	26	0	6,878	9,250	△ 2,372
(3) 事業収益	152,700	68,750,247	0	0	0	68,902,947	66,689,725	2,213,222
教育事業収入	152,700	0	0	0	0	152,700	120,600	32,100
水族館管理運営事業収入	0	67,077,996	0	0	0	67,077,996	65,659,125	1,418,871
依頼料収入	0	1,672,251	0	0	0	1,672,251	910,000	762,251
(4) 受取会費	0	8,209,500	0	0	0	8,209,500	8,176,500	33,000
個人会員会費	0	7,189,500	0	0	0	7,189,500	7,226,500	△ 37,000
法人会員会費	0	1,020,000	0	0	0	1,020,000	950,000	70,000
(5) 受取補助金等	18,677,486	108,719,152	0	9,657,787	0	137,054,425	140,840,786	△ 3,786,361
教育事業補助金収入	18,303,818	0	0	0	0	18,303,818	18,374,980	△ 71,162
水族館運営事業補助金収入	0	81,368,105	0	0	0	81,368,105	76,951,692	4,416,413
管理費補助金	0	0	0	9,459,045	0	9,459,045	10,209,633	△ 750,588
地方公共団体補助金(退職給付分)	373,668	1,505,775	0	189,742	0	2,078,185	1,608,238	469,947
受取補助金等振替額	0	25,845,272	0	0	0	25,845,272	33,696,243	△ 7,850,971
(6) 受取助成金	0	0	0	0	0	0	0	0
受取助成金	0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 雑収益	0	224,964	0	224,964	0	224,964	2,974,797	△ 2,749,833
運用財産利息収入	0	325	0	325	0	325	240	85
雑収益	0	224,639	0	224,639	0	224,639	2,974,557	△ 2,749,918
(7) 受取寄付金	0	3,164,313	0	3,164,313	0	3,164,313	0	3,164,313
受取寄付金	0	3,164,313	0	3,164,313	0	3,164,313	0	3,164,313
経常収益計	18,830,236	189,074,978	200	207,905,414	9,657,813	217,563,227	218,692,058	△ 1,128,831
(2) 経常費用								
① 事業費	19,057,780	197,155,576	0	216,213,356	0	216,213,356	214,311,504	1,901,852
役員報酬	316,778	950,333	0	1,267,111	0	1,267,111	1,774,808	△ 507,697
給料手当	12,612,895	52,540,117	0	65,153,012	0	65,153,012	57,158,523	7,994,489
賞金	0	1,070,515	0	1,070,515	0	1,070,515	8,246,660	△ 7,176,145
賞与引当繰入額	847,435	3,296,150	0	4,143,585	0	4,143,585	3,752,816	390,769
退職給付費用	373,668	1,505,775	0	1,879,443	0	1,879,443	1,473,996	405,447
福利厚生費	2,301,022	9,165,320	0	11,466,342	0	11,466,342	11,522,433	△ 56,093
報償費	703,300	0	0	703,300	0	703,300	327,500	375,800
会議費	0	23,500	0	23,500	0	23,500	0	23,500
旅費交通費	1,940	961,660	0	963,600	0	963,600	77,610	885,990
通信運搬費	83,223	788,637	0	871,860	0	871,860	1,002,229	△ 130,369
減価償却費	230,214	30,963,164	0	31,193,378	0	31,193,378	34,686,808	△ 3,493,430
備品費	0	796,412	0	796,412	0	796,412	1,229,537	△ 433,125
消耗品費	85,453	5,772,611	0	5,858,064	0	5,858,064	5,192,402	665,662
修繕費	0	23,632,180	0	23,632,180	0	23,632,180	13,340,910	10,291,270
印刷製本費	0	458,502	0	458,502	0	458,502	264,495	194,007
光熱水費	0	24,041,703	0	24,041,703	0	24,041,703	22,501,491	1,540,212
使用料及び賃借料	46,420	1,854,947	0	1,901,367	0	1,901,367	1,886,322	15,045
車両経費	1,000,092	1,987,141	0	2,987,233	0	2,987,233	2,744,645	242,588

科 目	公益目的事業会計			法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和2年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	小計					
保険料	24,161	1,575,249	0	0	0	1,599,410	1,356,599	242,811
手数料	0	1,100,752	0	0	0	1,100,752	1,033,133	67,619
諸謝金	0	233,676	0	0	0	233,676	230,287	3,389
交際費	0	14,000	0	0	0	14,000	2,000	12,000
食糧費	42,049	42,358	0	0	0	84,407	56,440	27,967
広告宣伝費	0	10,806,014	0	0	0	10,806,014	11,528,241	△ 722,227
イベント費	0	4,643,192	0	0	0	4,643,192	2,619,609	2,023,583
委託料	0	13,813,989	0	0	0	13,813,989	12,564,044	1,249,945
原材料費	0	183,075	0	0	0	183,075	102,278	80,797
租税公課	0	2,322,200	0	0	0	2,322,200	10,709,319	△ 8,387,119
負担金	385,060	994,000	0	0	0	1,379,060	1,164,150	214,910
外注費	0	1,320,000	0	0	0	1,320,000	5,440,050	△ 4,120,050
雑費	4,070	298,404	0	0	0	302,474	322,167	△ 19,693
②管理費								
役員報酬				10,178,957	0	10,178,957	10,857,432	△ 678,475
給料手当				1,825,730	0	1,825,730	2,624,605	△ 798,875
賞与引当繰入額				3,531,517	0	3,531,517	3,205,456	326,061
退職給付費用				447,902	0	447,902	460,140	△ 12,238
福利厚生費				198,742	0	198,742	134,242	64,500
会議費				1,014,079	0	1,014,079	1,040,747	△ 26,668
通信運搬費				7,601	0	7,601	9,044	△ 1,443
減価償却費				17,000	0	17,000	23,000	△ 6,000
消耗品費				533,382	0	533,382	558,188	△ 24,806
光熱水費				21,424	0	21,424	53,515	△ 32,091
使用料及び賃借料				1,370,619	0	1,370,619	1,284,386	86,233
保険料				587,400	0	587,400	587,400	0
諸謝金				89,451	0	89,451	73,518	15,933
租税公課				514,360	0	514,360	514,360	0
雑費				17,000	0	17,000	285,531	△ 268,531
				2,750	0	2,750	3,300	△ 550
経常費用計	19,057,780	197,155,576	0	10,178,957	0	226,392,313	225,168,936	1,223,377
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 227,544	△ 8,080,598	200	△ 521,144	0	△ 8,829,086	△ 6,476,878	△ 2,352,208
当期経常増減額	△ 227,544	△ 8,080,598	200	△ 521,144	0	△ 8,829,086	△ 6,476,878	△ 2,352,208
2 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
受取補助金振替額			1			1	0	1
経常外収益計	0		1			1	0	1
(2)経常外費用								
固定資産除却損	0	11,061	0	0	0	11,061	1	11,060
経常外費用計	0	11,061	0	0	0	11,061	1	11,060
当期経常外増減額	0	△ 11,060	0	0	0	△ 11,060	△ 1	△ 11,059
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	△ 227,544	△ 8,091,658	200	△ 521,144	0	△ 8,840,146	△ 6,476,879	△ 2,363,267
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	0	254,133,142	260,610,021	△ 6,476,879
一般正味財産増減の部	-	-	-	-	0	245,292,996	254,133,142	△ 8,840,146
受取補助金等								
受取地方公共団体補助金	0	32,000,000	0	0	0	32,000,000	42,000,000	△ 10,000,000
一般正味財産への振替額	0	25,845,273	0	0	0	25,845,273	33,696,243	△ 7,850,970
当期指定正味財産増減額	0	6,154,727	0	0	0	6,154,727	8,303,757	△ 2,149,030
指定正味財産増減の部	-	-	-	-	0	232,172,039	223,868,282	8,303,757
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	0	238,326,766	232,172,039	6,154,727
正味財産期末残高	-	-	-	-	0	483,619,762	486,305,181	△ 2,685,419